

環 境 報 告 書

令和 7 年 8 月報告

ふりがな	ゆうげんがいしゃ　おいわけやりよかん			認定 ランク	一つ星
事業所名	有限会社　追分屋旅館				
概　　要	所　在　地	長野県松本市大字里山辺 1145			
	代　表　者　名	代表取締役 花岡　秀敏			
	事業規模 (主な事業内容 ・従業員数)	宿泊・飲食サービスの提供 従業員数：45 名			
	担　当　者	所属	フロント・経理	氏名	花岡　香織
	連　絡　先	電話	0263-33-3378	FAX	0263－33－3571

○ 環境に配慮した取組みの内容

環境に対する理念・方針	自然と共に生き、地域と共に歩む温泉旅館 私たちは、自然の恵みである温泉を大切に守りながら、地域資源と調和した宿づくりを通して、持続可能な未来に貢献します。 方針（具体的な取り組み） 1. 地域資源の活用と地産地消の推進 地元の食材・工芸品・人材を積極的に活用し、地域経済と文化の持続に貢献します。 2. エネルギー・水の節約と再利用 LED 照明、節水設備、再生可能エネルギーの導入などを通じて、省エネ・省資源に取り組めます。 3. ごみの削減とリサイクルの推進 プラスチック削減や分別を進めることにより、環境負荷を抑えた運営を目指します。 4. 地域の自然・文化の保全活動への参加 地域清掃活動、地元のお祭りや伝統行事への協力などを通して、地域とのつながりを深めます。
-------------	--

	5. お客様と共に歩む環境意識の構築 環境に配慮した宿泊スタイル（エコ清掃、脱プラスチックアメニティ化等）を提案し、共に取り組む姿勢を大切にします。
環境に関する取組目標	1. エネルギーの効率化 目標：2027 年までに旅館全体の電力使用量を 10%削減。 2. ごみ削減 目標：可燃ごみ排出量を年 5%削減。 3. プラスチック使用の削減 目標：プラスチック製品の使用を 2027 年までに 10%削減。 4. 節水の取り組み 目標：全館の水使用量を年間で 5%削減。
具体的な取組内容	1. エネルギーの効率化 ・ お客様のチェックアウト時のエアコンや照明の消灯の徹底 ・ お客様のチェックイン時間の確認により無駄に長い時間エアコンをつけた状態にしない ・ 老朽化した非常灯を LED の非常灯照明へ切り替え 2. ごみ削減 ・ ごみの分別指導と掲示の徹底 ・ 食品ロス削減のための少食プランの売り出し 3. プラスチック使用の削減 ・ 脱プラスチックアメニティへの切り替え 4. 節水の取り組み ・ 清掃時の水使用量の見直し ・ 厨房・洗い場での水使用量の見直し その他、連泊のお客様へのエコ清掃については、お客様にお伺いし、賛同が得られる場合は行っております。
実施結果（成果）	1. エネルギーの効率化 お客様のチェックアウト後、清掃業務時は控えめの館内照明・こまめに消灯を行う意識が従業員に浸透してきた。

	2. ごみ削減 以前よりゴミ捨て場の状況が改善されている。 清掃スタッフ内で分別を進める姿勢がみられる。 3. プラスチック使用の削減 松本市の補助金を利用して令和 6 年度は歯ブラシ、カミソリ、ヘアブラシ等を地球に優しい素材へ切り替えた。今年度もそちらを利用して引き続き削減に取り組む予定である。 4. 節水の取り組み 常時、目につく場所に節水ポスターを貼っている。 出しっぱなしにせず、予洗いの際、こまめに水をとめる姿が見受けられる。
課題・問題点と その改善に向けた取り組み	3. のプラスチック使用の削減に関しては、やはり該当製品への切り替えは高コストとなる。補助金が使える期間中は補助金でまかなってはいるが、今後とも継続となると、多面的に見て節約し経費を生み出すしかない。他の低コストでできる対策も考えていかななくてはならないかもしれない。 改善に向かつてはいるが、節水の取り組みに関してもまだ課題が残る。 常時目につく場所に節水ポスターを貼ってはいるが、慣れていくうちに風景の一部となってしまう、常に気にかけているという風に見受けられないスタッフもいる。 具体的な使用状況・使用目標を新たに掲示し、常に意識してもらえる状況を作っていきたい。節水の蛇口なども検討するべきかと思う。
その他、 アピールポイント等	畑でぶどうを栽培し、ワインとして製品化することで地域の特性を最大限にアピールしながら、地産地消を積極的に行い、地域の活性化に貢献している。 旅館での飲食でも地域の食材、特産品を多用している。 ダンボールの再利用、裏紙や古封筒、緩衝材の再活用も依然、力を入れ行っている。 売店での購入品をいれる袋に関しては紙袋を手作業で作成し、レジ袋削減に取り組んでいる。 その他、地域のお祭りへの参加、協力も行っているが、各地からお越し頂いた旅館のお客様にも知っていただき、興味を持って頂き参加していただいたり、見学をしていただく取り組みも行っている。